

第1回円空大賞

西村公朝（にしむらこうちょう）

プロフィール

国籍：日本

生年：1915年大阪府生まれ、大阪府吹田市在住

職業：仏像彫刻家・愛宕山（おたぎさん）念仏寺住職・東京芸術大学名誉教授・吹田市立博物館長



作家略歴

1915年：大阪府高槻市生まれ

1941年：奈良美術院（現在、(財)美術院国立修理所（京都国立博物館内））に入所
三十三間堂の十一面千手観音像をはじめ、約1300体の仏像修復を手がける

1959年：(財)美術院国宝修理所長に就任（67年まで務める）

1961年：香川県文化財専門員を71年まで（10年間）務める

1967年：東京芸術大学教授に就任（83年定年退職）

1975年：紫綬褒章受章

1986年：東京芸術大学名誉教授に就任

1987年：勲三等瑞宝章受賞

1989年：東方文化賞受賞（長年にわたる仏教文化の研究に対する功績に対して、東京大学東方研究会が授与）

1992年：吹田市立博物館長に就任



代表著作

「秘仏開眼」「仏像の再発見」「仏の世界観」「やさしい仏像の見方」「仏像は語る」「やさしい仏像の作り方」
「昭和の生きた羅漢さん」「やさしい仏画の描き方」「千の手千の眼」「祈りの造形」「魅惑の仏像」「ほとけの顔」
「仏の姿」「極楽の観光案内」「仏像物語」等

受賞理由

- ・西村公朝氏は、仏像修理師として仏像の研究や三十三間堂千手観音像、広隆寺弥勒菩薩像など国宝級の仏像約1300体を修復し、文化財の保護に努めてきました。また、比叡山戒壇院の本尊釈迦如来像などの制作もしている。
- ・(財)美術院国宝修理所での長年にわたる文化財保護活動に対して文化庁より推薦を受けて紫綬褒章を受章し、東京芸術大学での長年にわたる教授活動（仏教文化の研究）に対して勲三等瑞宝章等も受賞している。
- ・同氏が住職を務める念仏寺には、自分の仏を彫りたいという一念で訪れる人が多く、1981年（昭和56年）から五百羅漢の制作が始まり、現在1200体もの羅漢が並んでいる。現代を生きる我々にとって大きな問題の一つである心の問題に対して正面から取り組み、人々の心を癒し安らぎを与えるために、羅漢づくりの指導に取り組んでいることは、今日的な意義のある活動として注目できる。また、それは、人々の幸福を願って12万體もの仏像を彫った円空に通じるものがある。
- ・同氏の仏像彫刻家としての活躍は、その業績と精神において円空を彷彿とさせ、円空大賞の大賞受賞者としてふさわしい人物である。

